

たすく療育・横浜センター南（放課後等デイサービス） 事業所における自己評価結果(公表)

令和4年2月調査 ○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	人数が多い時には、スペースに応じて活動の変更をしています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	5	0	0		送迎の充実のために非常勤募集中です。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	0	運動制限があるお子さまに対して、職員が介助をしています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	0		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	毎年7月に法人独自のアンケート調査を実施し、業務改善につなげて、マニュアルの改善も行っています。	
	6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	5		今後法人本部と連携しながら、実施を検討していきます。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	OJTの場を設けています。また、法人本部と連携して、保護者学習会や職員研修など月一回程度の頻度で実施しています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	法人で定められたガイドラインに基づき、良質なアセスメントを実施し、放課後等デイサービス計画の作成を行なっています。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0	感覚プロファイル、ヴァインランド、WISC、KABCなどのみならず、特別支援教育の専門家が臨床場面をビデオ分析し、お子さまを見る際に必要な視点をまとめた、J☆sKepsという指標を用いたアセスメントを実施しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行なっているか	5	0	0	チームでアプローチできるように、主担当だけでなくスタッフ全員が参画しており、アイデアを気軽にらせるような関係性を構築しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	定期的に会議を開き、活動プログラムの評価改善をしています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	時期に応じてプログラムを変えています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	情報共有の時間を大切にしています。毎日療育前後に療育内容の確認をしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	ケース共有の時間を毎日設けています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	0		特にお子さまの基本情報や療育の様子をまとめたカテゴリ10を元に報告と次回の計画を共有し、改善に繋げるように努めます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	毎年9月、3月頃にモニタリング週間を設け、計画の見直しを検討しています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	0	0		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	主に児童発達管理責任者と担当者が参加しています。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1	0		
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	0	医療的ケアが必要なお子さま、重症心身障害のあるお子さまの受け入れは過去にありません。	現状では受け入れはありませんが、受け入れが決まった際には医療機関等との連携を密に行っていきます。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	0	ご家族のご要望をいただければ、情報共有をしています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	0	0		
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	1	4	0	地域の会議等、お知らせをいただいたものについては、原則参加するようにしています。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	0	家族会活動や共創学習にて兄弟児と関わる機会を持てるようにしています。	
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	5	0	0		
保護者への説明責任等	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0		
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	0	0		
	30 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0		丁寧な説明を心がけていますが、複雑なため理解につながっていないと感じることがあります。法人本部とも相談しながら、納得してご利用いただけるように、ご家族に説明いたします。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	その場で回答できることはお答えしています。難しい案件の場合は、一度持ち帰って職員間で話し合いをし、適任者によるフィードバックをしています。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	0	家族会活動や保護者学習会を定期的に開催しています。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0		
	35 個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	1	0	法人で定められた個人情報の取り扱い規定に則り、十分注意して取り扱っています。メッセージの誤送信がある時は、個別に対応しています。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	0		家族会活動を中心に、地域の方が参加しやすいプログラムを検討していきます。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	2	0		マニュアルやガイドラインはあるが、細かな周知まではできておらず、訓練を企画しても参加が少ないのが現状です。法人本部とも連携しながら、マニュアルやガイドラインの周知方法、参加しやすい訓練設定を検討していきます。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	1	年3回、訓練を実施しています。	月1回が望ましいと考えているので、法人本部と検討中です。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0		
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	0		身体拘束が必要な事例が現在ありませんが、今後必要な場合個別支援計画に反映させます。
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	0	原則飲食は行ってません。必要なお子さんは保護者と相談しながら対応しています。		
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	4	0	事例検討会を開き、記録を共有しています。	事例集としてまとめ、参照しやすいシステムを構築していくことを検討しています。	